



TITLE:

<報告>安倍隆二君の御紹介

AUTHOR(S):

寺松, 孝

CITATION:

寺松, 孝. <報告>安倍隆二君の御紹介. 京都大学結核胸部疾患研究所紀要
1972, 6(1): 92-92

ISSUE DATE:

1972-12-28

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/52300>

RIGHT:

安倍隆二君の御紹介

胸部外科学部

寺 松 孝

安倍君は、一昨年（昭和38年）の秋、久留米第1外科の猪口助教授（かつて私どもの研究所に手術見学の目的で暫らく滞在されていた）の御紹介で当部の医員としてこられた。爾来、人工気管について研究を進めていられることは周知の処である。

性格は明朗で、お坊っちゃんというのが定説、自称亭主関白。独創性、進趣の気性に富むが、その反面、細かい点での配慮が不十分の時も多い。好漢、1歩進んで半歩退くようにされんことを。

余り長いお交際ではないので、彼自身に略歴を附記して戴いた。御参照下さい。

安倍隆二略歴

昭和12年1月2日生

仙台市立木町通小学校より石巻市立住吉小学校に転校、同中学、宮城県立石巻高等学校、久留米大学医学部（昭和38年卒）、第1外科学大学院

博士論文「肺高血圧症に関する実験的ならびに臨床的研究」その間、一般外科、脳外科、小児外科を学び、胸部外科を専門とした。昭和43年より約2年間、国立療養所山陽荘に勤務、昭和45年10月より京大結胸研胸部外科の医員、昭和47年4月同助手。

現在、人工臓器とくに人工気管についての研究を主テーマとしている。

スポーツは高校時代はヨット、大学時代はラグビー、現在はゴルフ。